

令和6年度 鹿屋市一般会計 当初予算(案)の概要

“ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」”の実現に向けて

令和6年3月
鹿屋市 総務部 財政課

2 令和6年度鹿屋市当初予算(案) 総括表

予算の規模

会計	令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	増減額	伸び率
一般会計	610億4,000万円	580億2,000万円	30億2,000万円	5.2%
特別会計	248億4,201万円	247億1,872万円	1億2,329万円	0.5%
公営企業会計	44億2,073万円	46億2,867万円	▲2億 794万円	▲4.5%
合計	903億 278万円	873億6,739万円	29億3,539万円	3.4%

※ 各数値の表示未満は四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。以下の表同じ。

■特別会計の内訳

会計	令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	増減額	伸び率
国民健康保険事業	116億 740万円	112億1,097万円	3億9,643万円	3.5%
後期高齢者医療	16億3,425万円	15億2,390万円	1億1,035万円	7.2%
介護保険事業	116億 36万円	119億8,385万円	▲3億8,349万円	▲3.2%
合計	248億4,201万円	247億1,872万円	1億2,329万円	0.5%

■公営企業会計の内訳

会計	区分	令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	対前年度比	伸び率
水道事業	収益的収入	16億 9,608万円	17億 8,704万円	▲9,096万円	▲5.1%
	収益的支出	16億 79万円	17億 6,929万円	▲1億 6,850万円	▲9.5%
	資本的収入	5,249万円	6,745万円	▲1,496万円	▲22.2%
	資本的支出	11億 6,421万円	11億 4,911万円	1,510万円	1.3%
下水道事業	収益的収入	9億 1,441万円	9億 2,496万円	▲1,054万円	▲1.1%
	収益的支出	8億 5,958万円	8億 8,206万円	▲2,247万円	▲2.6%
	資本的収入	3億 1,222万円	4億 2,603万円	▲1億 1,382万円	▲26.7%
	資本的支出	6億 4,608万円	7億 6,757万円	▲1億 2,149万円	▲15.8%

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

3 令和6年度一般会計当初予算（案）の概要

予算編成の考え方

令和6年度は、第2次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像

“ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」”

の実現に向け、5つの基本目標に加え、「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「かのや農業・農村戦略ビジョン」に基づいた施策・事業を着実に推進する予算として編成しました。

なかでも、以下の5つの視点に立ち、重点的な取組を進めます。

【5つの重点項目】

- ① 少子化対策・こども政策の充実
- ② 地域経済の活性化
- ③ 多極ネットワーク型コンパクトシティの実現
- ④ グリーン・デジタル・トランスフォーメーション（GX）・デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ⑤ 誰ひとり取り残さない社会の実現

当初予算総額

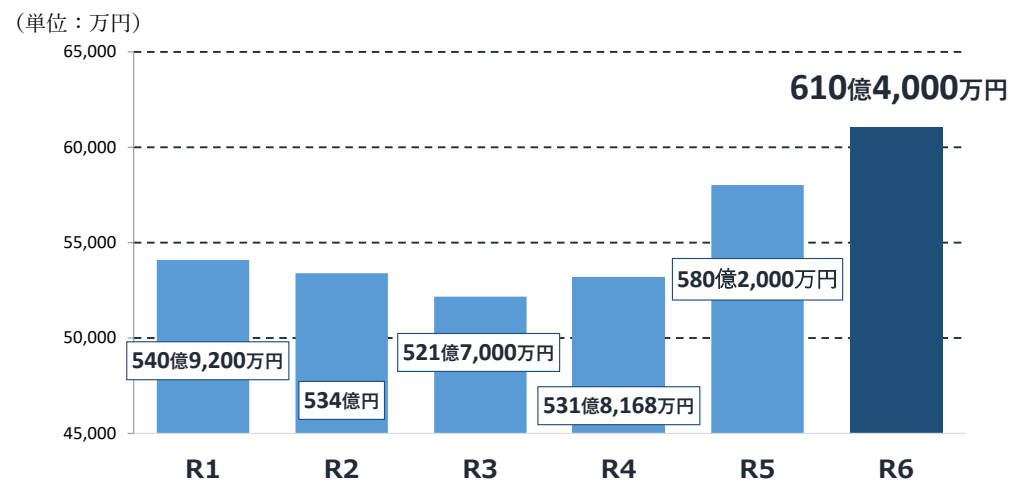
一般会計当初予算額の総額

令和6年度 鹿屋市一般会計当初予算

610億4,000万円

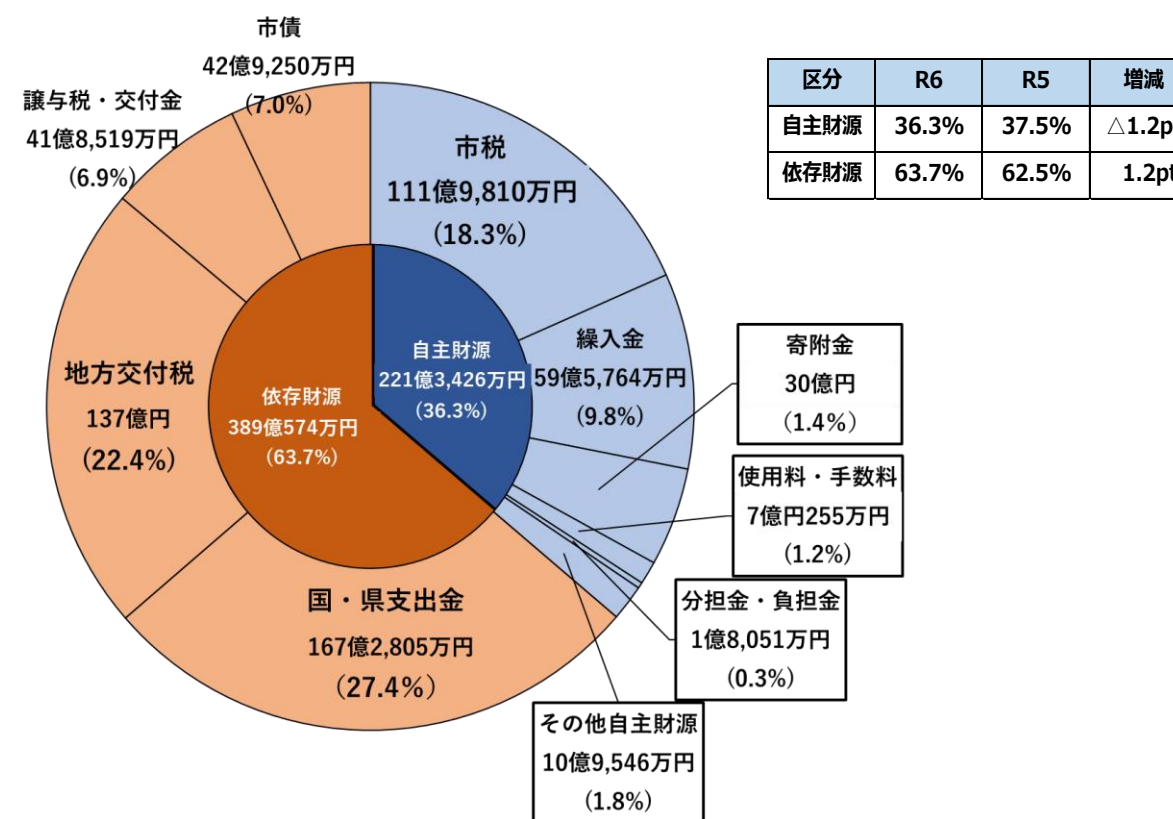
(令和5年度予算比※ +30億2,000万円 +5.2%)

一般会計当初予算額の推移



歳入・歳出の構成

歳入予算の内訳



歳入の主なもの

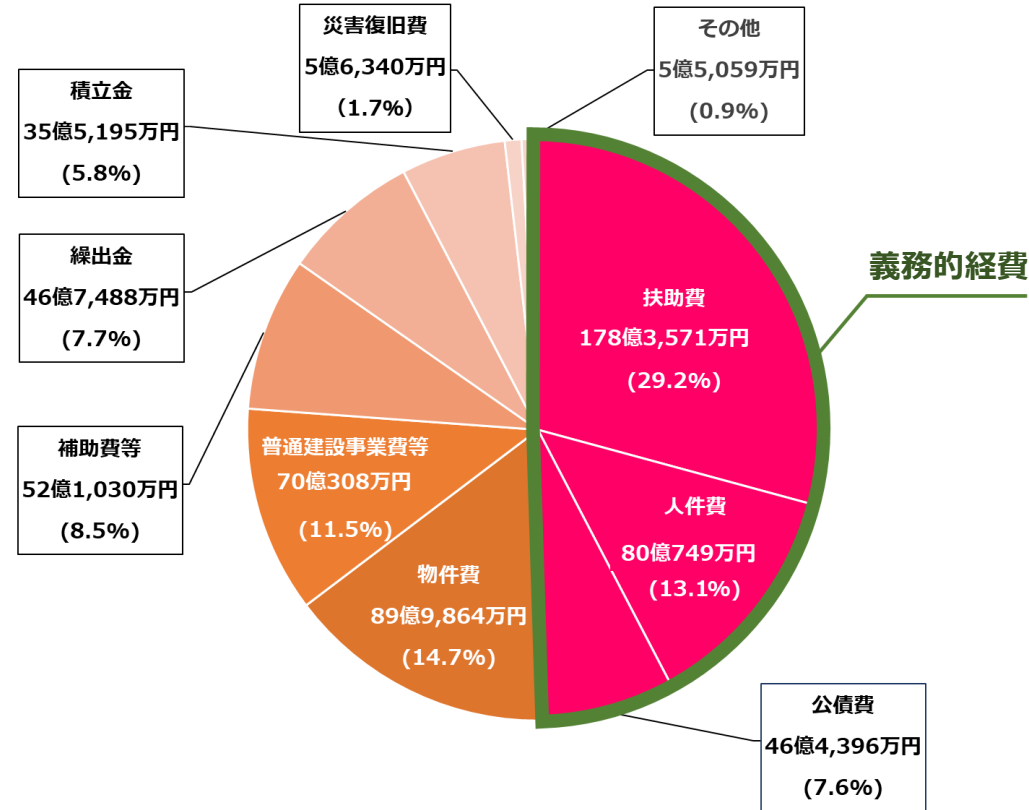
	対前年比
①市 税	111億9,810万円 (▲ 2.6%)
②地方特例交付金	4億2,700万円 (+ 349.5%)
③地方交付税	137億円 (+ 3.0%)
④国庫支出金	106億8,816万円 (+ 9.4%)
⑤県支出金	60億3,989万円 (+ 5.1%)
⑥繰入金	59億5,764万円 (+ 11.3%)
⑦市 債	42億9,250万円 (+ 19.0%)

歳出予算（性質別）の内訳

■ 義務的経費 ※人件費・扶助費・公債費の合計

304億8,716万円

(前年度比 +18億195万円)



■ 普通建設事業費

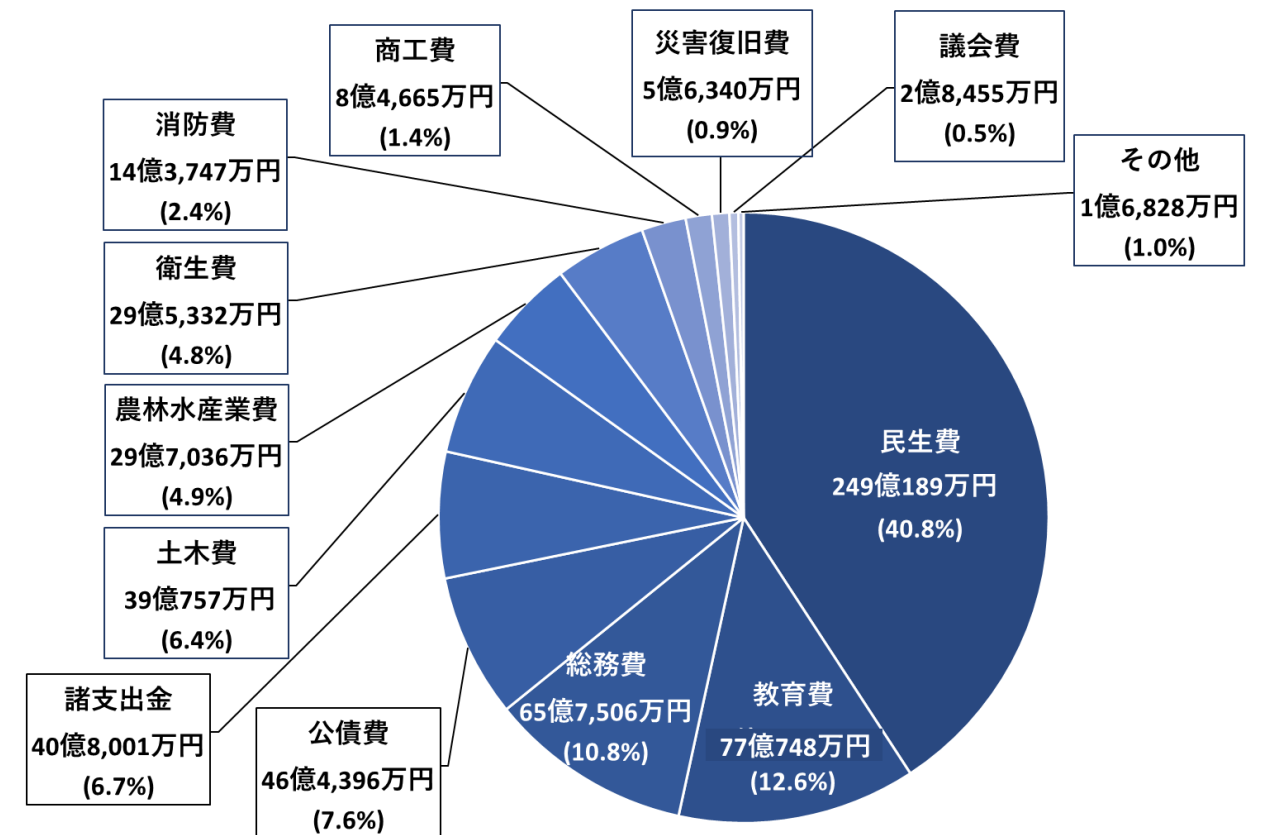
70億 308万円

(前年度比 +8億3,019万円)

歳出（性質別）の主なもの

項目	金額 (万円)	対前年比 (%)
①人件費	80億 749万円	(+ 7.0%)
②扶助費	178億 3,571万円	(+ 9.0%)
③公債費	46億 4,396万円	(▲ 4.1%)
④普通建設事業費	70億 308万円	(+ 13.4%)
⑤物件費	89億 9,864万円	(+ 7.1%)
⑥補助費等	52億 1,030万円	(▲ 6.3%)

歳出予算（目的別）の内訳



歳出（目的別）の主なもの

項目	金額 (万円)	対前年比 (%)
①総務費	65億 7,506万円	(+ 8.5%)
②民生費	249億 189万円	(+ 6.9%)
③農林水産業費	29億 7,036万円	(+ 8.1%)
④商工費	8億 4,665万円	(▲ 24.3%)
⑤土木費	39億 757万円	(+ 3.2%)
⑥教育費	77億 748万円	(+ 11.8%)

市債

市債の活用

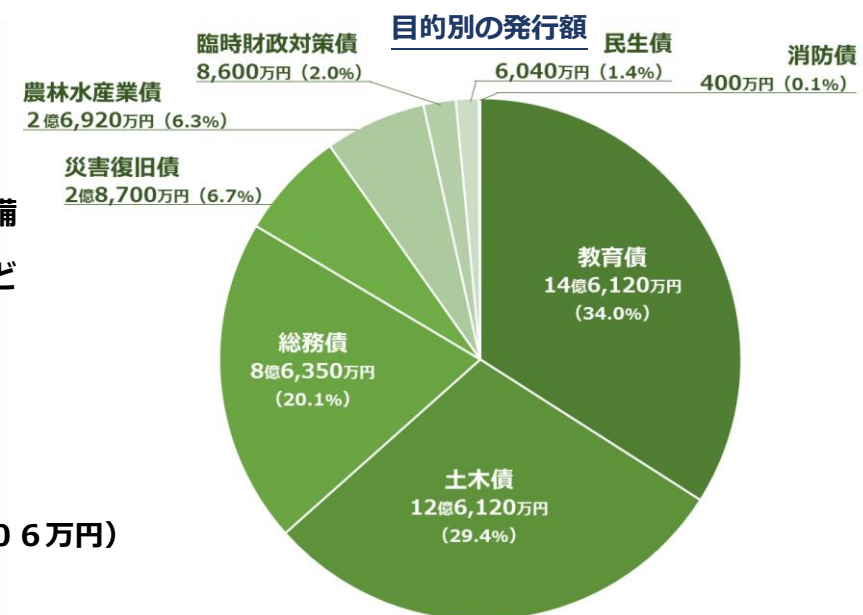
発行額 **42億9,250万円**
 (令和5年度予算比 +6億8,570万円 +19.0%)

活用事業

- 野里運動施設の整備工事
- 湯遊ランドあいら施設整備
- 平和市営住宅整備 など

市債残高

令和6年度末見込み
363億1,749万円
 (前年度末比 ▲2億3,106万円)



基金

基金の活用

●主な活用基金

活用基金	活用額	活用事業
ふるさと鹿屋応援基金	29億200万円	・ふるさと納税返礼品等 14億円 ・学校給食費無償化(一部) 3億7,400万円 など
地域振興基金	7億4,530万円	・野里運動施設整備 4億6,000万円 など
財政調整基金	13億4,454万円	—

基金残高

令和6年度末(見込み) **222億7,736万円**
 (令和5年度末比較 ▲23億4,733万円)

<5つの基本目標ごとの概要>

基本目標1 やってみたい仕事ができるまち

- 基本施策① 活力ある農林水産業の振興
- 基本施策② 商工業の振興と雇用の促進

基本目標2 いつでも訪れやすいまち

- 基本施策① 地域資源を生かした観光の推進
- 基本施策② スポーツによる交流の推進
- 基本施策③ 移住・定住の推進

基本目標3 子育てしやすいまち

- 基本施策① 子育て支援の充実
- 基本施策② 未来につながる教育の充実

基本目標4 未来につながる住みよいまち

- 基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進
- 基本施策② 安全で安心な生活の実現
- 基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

基本目標5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

- 基本施策① 地域福祉の充実
- 基本施策② 健康づくり・生きがいづくりの推進
- 基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進

基本目標 1 やってみたい仕事ができるまち

19億 919万円

基本施策① 活力ある農林水産業の振興

■ 農地集積の加速化と大区画化の推進 (農地整備課・農業委員会) 1,153万円

地域計画に基づく中核的な担い手への農地集積の加速化や農地の大区画化を図り、効率的で生産性の高い農業生産基盤の確立を図ります。

新 ▶ 小規模地域の区画整理 803万円

・小規模地域(5ha未満)において、大型機械での作業が可能な大区画化(20a以上)を進める農家を支援

対象経費	支援率
畦畔除去等に係る経費	自主施工：1/2 請負工事：2/3

拡 ▶ 遊休農地の解消に向けた支援 350万円

・遊休農地を解消し、農地の集積を行う農家を支援

対象経費	支援率
トラクター等を用いた整備に係る経費	1/2
重機等を用いた整備に係る経費	2/3

■ 多様な担い手育成支援事業 (農政課・畜産課・農地整備課) 204万円

集落営農組織の拡大や組織化を推進するとともに、農業経営に必要な知識、技術の習得に取り組む地域おこし協力隊を採用するなど、農業の多様な担い手の確保・育成を図ります。

新 ▶ 集落営農組織の拡大や組織化への支援 129万円

区分	支援額
大型農業機械操作者の雇用	1団体当たり上限 20万円
大型特殊免許の取得	1人当たり 17,600円
集落営農組織の設立経費	1団体当たり 20万円



新 ▶ 兼業農家等の機械導入支援 75万円

・「半農半X」に取り組む人などの兼業農家が行う機械導入の支援

対象	支援額
50万円未満の機械導入経費	上限 15万円 (補助率3/10)

■ 輪作拡大による農業生産の向上 (農政課) 712万円

畑地かんがい受益地域において、畑地かんがい水の活用によるサツマイモ等収穫後の輪作体系を促進し、農業生産及び農家所得の向上を図ります。

拡 ▶ 輪作作物の生産拡大に向けた支援 712万円

・サツマイモ等の後作に対象作物を輪作し、さらに面積拡大した農家を支援



対象作物	支援額
サラダごぼう、にんじん、キャベツ等	拡大面積10アール当たり 17,000円～28,000円

■ 環境保全型農業の普及促進 (農政課) 658万円

化学農薬・肥料の使用低減及び有機農業の拡大を支援し、環境に配慮した農業を推進します。

新 ▶ 有機JASの取得・更新支援 108万円

・有機JAS新規取得に係る申請料や更新に係る経費を支援

対象	支援額
新規取得申請経費	上限 15,000円
新規取得・更新に係る調査料	1～10ヘクタール 17,000円～175,000円

▶ 有機農業等に取り組む団体への支援 550万円

・国県の補助事業を活用し、化学肥料等を使用抑制した農業者団体への支援

■ 魅力ある農業イベント (農政課) 272万円

市内外の方々に農業の魅力や楽しさを実感してもらうことを目的に、農業に親しめるイベントを拡充します。

新 ▶ 芋いもカーニバルの開催 200万円

・生産者と消費者が一体となって、さつまいもを楽しむイベントの開催

新 ▶ 体験型農園の整備 72万円

・季節野菜の基礎知識を学び、植え付けから収穫までを体験

場所	作物	参加料
神野地区	米、さつまいも、ピーマンなど	年間5,000円



■ 畜産生産基盤の強化（畜産課） 2億6,975万円

畜産経営体の施設等の整備や繁殖農家・肥育農家による生産基盤の維持・拡大の取組に対する支援を強化します。

新 ▶ 高齢繁殖雌牛の更新支援 5,000万円

・ 高齢繁殖雌牛を更新した際の支援

対象経費	支援額
高齢繁殖雌牛（13歳以上）の更新経費	1頭当たり 10万円

▶ 肥育素牛の導入・保留支援 3,040万円

・ 鹿屋産の子牛を肥育素牛として導入・保留した際の支援

対象経費	支援額
鹿屋産子牛の導入・保留経費	1頭当たり 8万円

▶ 畜産施設整備の支援 1億8,935万円

・ 国の畜産クラスター事業を活用した収益力強化に必要な施設整備の支援

■ 家畜伝染病防疫対策（畜産課） 1,236万円

肝属管内の市町と連携し、豚熱発生の抑制や養豚経営の安定を図ります。

新 ▶ 豚熱ワクチン接種の支援 1,236万円

対象経費	支援額
ワクチン接種経費	1頭当たり 35円

■ 鳥獣被害防止対策の強化（林務水産課） 4,356万円

ジビエ加工の取組を支援するとともに、効果的な鳥獣対策を実施することで、鳥獣による農作物の被害を防止し、農業経営の安定を図ります。

新 ▶ ジビエ処理加工施設整備への支援 600万円

・ 国の補助事業を活用したジビエ処理加工施設整備の支援

▶ ワイヤーマッシュ・電気柵設置支援 3,756万円

・ 県の補助事業を活用した鳥獣被害対策



■ 黒羽子観光農園の活性化（吾平総合支所産業建設課） 17万円

周年型観光農園の確立や新規生産者の確保等を図るため、「黒羽子観光農園活性化計画」を策定し、観光農園活性化及び吾平地域の観光振興を目指します。

新 ▶ 黒羽子観光農園活性化計画の策定 17万円

専門家の助言や先進地視察

基本施策② 商工業の振興と雇用の促進

■ 中心市街地の活性化（商工振興課） 302万円

地域特性を生かした商店街等の活性化に向けた様々な取組を実施し、魅力ある商店街づくりを目指します。

新 ▶ 空き店舗改修費用支援 302万円

・ 空き物件等を活用し、飲食業等の出店を計画している事業者等への支援

対象者	対象経費	支援額
空き店舗に出店する事業者	建物改修経費	1/2
	設備導入経費	※上限100万円
空き店舗の所有者	建物改修経費	1/2
	家財等処分費	※上限50万円

■ リナシティかのやの利用促進（商工振興課） 1,174万円

リナシティかのやに整備したコワーキングスペース（共有環境）を活用し、異業種交流やテレワーク拠点として、本市における多様な働き方を推進します。

新 ▶ コワーキングスペースの利用促進 1,124万円

主な取組内容
・ 利用者同士のコミュニケーション活性化のため、コミュニケーションディレクターの配置
・ 施設利用者増加に向けたセミナー・イベントの開催
・ 市内企業×都市圏企業によるプロジェクトの創出



新 ▶ 親子仕事体験イベントの開催 50万円

・ 小中学生の親子を対象とした地元企業による仕事体験イベントの開催

■ 女性の起業支援（産業振興課） 160万円

女性による「起業」潜在ニーズを引き出す支援を実施し、女性が自分らしく活躍できるための起業環境の整備に取り組みます。

新 ▶ 女性起業者の発掘や伴走支援 160万円

- 起業について知るセミナーの開催
- 起業（希望）者の定期交流会の開催
- コーディネーターによる伴走支援体制の構築

■ 産業用地の確保（産業振興課） 5,071万円

戦略的な企業誘致活動の推進を図るため、産業用地の確保に向けた各種調査等を実施します。（整備予定地：県農業開発総合センター大隅支場）

拡 ▶ 地質調査、試験井戸掘削・設置 5,071万円

・ 整備予定地における地質調査、地下水の状況調査に係る井戸の掘削・設置

基本目標2 いつでも訪れやすいまち

42億435万円

基本施策① 地域資源を生かした観光の推進

■かのやの魅力ある観光（ふるさとPR課・都市政策課・商工振興課 外） 2,000万円

本市の地域資源を実際に体験してもらい、再び訪れたいくなる魅力的な観光地づくりを推進します。

拡 ▶戦後80年に向けた仕掛けづくり 1,166万円

・戦後80年（令和7年度）に向けた平和への意識醸成

主な内容	
・慰霊塔周辺の環境整備	・創作演劇制作
・「戦争体験を語る」映像の制作	・体験談集制作
・3次元処理による戦跡等の保存	・平和学習ガイドレベルアップ事業

新 ▶人流分析ツールの導入 594万円

・エリアの来訪者数や前後移動先等の把握・分析に伴う観光戦略や施策の見直し

新 ▶四季折々の花を生かしたカレンダー制作 70万円

・霧島ヶ丘公園内に植栽されている花木の紹介を兼ねた写真付きカレンダーの制作

新 ▶鹿屋市と北海道の食をそろえたイベントの開催 170万円

・集客力の高い北海道の食をそろえたイベントの開催によるリナシティかのやのPR
・北海道の事業者と連携した鹿屋の食・物産をPR

時期	内容
5月下旬 (3日間)	・北海道及び鹿屋市の食材を活用した料理の提供 ・北海道及び鹿屋市の物産販売 など

基本施策② スポーツによる交流の推進

■スポーツイベントの開催（市民スポーツ課） 1,066万円

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会を契機としたレガシー大会を開催し、本市の競技力向上の取組を支援します。

新 ▶かごしま国体・かごしま大会レガシー大会の開催 1,066万円

・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の開催を契機とした各種競技大会の開催

競技	内容（予定）
ローイング	オール九州かのやレガッタ（仮称）の開催
バレーボール	V1リーグチームと鹿屋体育大学とのエキシビジョンマッチ及び小中学生等とのクリニック実施
自転車	Jプロツアーの開催

■新たなスポーツ施設の整備（市民スポーツ課） 17億7,753万円

市民がスポーツに親しみやすい環境づくりや各種大会、スポーツ合宿誘致による交流を促進するために、スポーツ施設の整備を行います。

▶野里運動施設の整備 17億7,753万円

項目	内容
整備内容	・テニス場 10面（人工芝、ハード、壁打ち） ・サッカー場 1面 ・ウォーキングコース 約0.5km ・クラブハウス（事務所、更衣室等） ・駐車場（105台）
整備面積	約4.5ha
供用開始予定	令和7年度



基本施策③ 移住・定住の推進

■移住・定住の促進に向けた取組（地域活力推進課） 1,430万円

地方での生活や地域づくりに興味のある都市住民をターゲットとした「かのやローカルチャレンジスクール」の開催や移住支援制度の再構築を行うなど、関係人口の創出と移住・定住の促進を図ります。

▶かのやローカルチャレンジスクールの開催 400万円

学生から会社員、フリーランスなど、様々なキャリア、年代の人が、鹿屋のことを知り、一定期間活動を継続しながら、地域との関係性を深め、自分が持つスキルや得意なこと＝“自分資源”と鹿屋にある“地域資源”を組み合わせ、自分のやりたいこと＝「マイプロジェクト」を企画・実現するスクール

- ・オンラインで開催するワークショップ
- ・実際に鹿屋に足を運ぶフィールドワーク
- ・企画プレゼン発表会の実施

▶移住支援制度の推進 1,030万円

区分	補助の種類	補助内容
住まいの支援	空き家等バンク物件改修補助	空き家等バンクに登録された物件の改修等に要する経費を一部助成
移住者支援	移住就業支援補助金	国の地方創生移住支援事業を活用し、東京圏からの移住者に支援金を支給
移住活動・体験支援	移住体験支援事業	本市が実施する子育て世帯向け移住体験ツアー及び移住することを目的とした就業活動等を行う者に対して、交通費・宿泊費等の一部を補助

基本目標3 子育てしやすいまち

35億2,486万円

基本施策① 子育て支援の充実

■ 学校給食の完全無償化（学校教育課） 4億9,989万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小・中学生の学校給食費の全額を支援します。

拡 ▶ 小中学校の学校給食費無償化 4億9,989万円

区分	給食費	支援額	年間支援額
小学生	1食あたり 250円	1食あたり 250円	約50,000円
中学生	1食あたり 300円	1食あたり 300円	約60,000円

■ 保育所等給食の物価高騰支援（子育て支援課） 4,830万円

保育所等給食において、県事業を活用し、物価高騰による影響の抑制や保育所等給食の安定的なサービス提供を図ることで保護者の負担軽減を図ります。

▶ 物価高騰による保育所等の給食支援 4,830万円

対象施設	対象期間	補助基準
保育所 認定こども園 地域型保育事業所	令和6年4月～ 令和7年3月	(主食+副食費) × 物価上昇率

■ 妊産婦の産前・産後支援（健康増進課） 1,116万円

母親の出産・育児に関する不安等の心身のケアの充実を図り、安心して地域で産み育てることができる環境や支援体制を整備します。

新 ▶ 初回産科受診料の負担軽減（産前） 800万円

・妊娠判定時の産科受診料の一部支援

▶ 産後ケアの充実（産後） 316万円

産後ケア区分	支援額	自己負担額
新 日帰り型	7,000円～18,500円	1,500円～3,000円
宿泊型	14,000円～37,000円	3,000円～6,000円

※支援額・自己負担額は世帯所得によって異なる。

■ 子どもの医療費等の負担軽減（健康増進課・子育て支援課） 2,798万円

13歳未満の子に対する2回目のインフルエンザ予防接種を推進するとともに、子ども医療費無償化の対象を拡大するなど子育て世帯への負担軽減に取り組み、安心して子育てできる環境を整備します。

拡 ▶ インフルエンザ予防接種費用の負担軽減 2,475万円

・13歳未満の子の1・2回目インフルエンザ予防接種費用に対して2,000円補助



拡 ▶ 子ども医療費の支援拡大 323万円

・修学等により親元を離れる子を子ども医療費無償化の対象に拡大

■ 親子で楽しめるイベントの開催（子育て支援課） 348万円

子育て支援の一環として、子育て世帯が親子で学ぶ交流イベントを開催するとともに、本市が実施している子育て支援施策等の情報提供を行います。

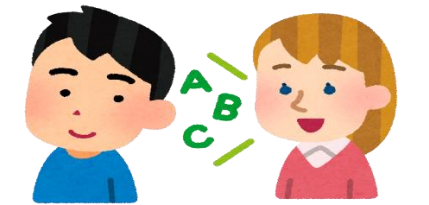
▶ わくわくキッズまつりの開催 348万円

・親子クッキング（食育）や親子工作教室、キャラクターショーなど親子で学び・体験できるイベントを開催

基本施策② 未来につながる教育の充実

■ グローカル人材の育成（地域活力推進課・学校教育課） 191万円

国際化・情報化社会の進展や在留外国人の増加により、共通言語としての英語の重要性が高まる中、英語教育を通して、国際社会で活躍できる人材の育成を目指します。



新 ▶ イングリッシュカフェの開催 56万円

・自然な交流の中で英語を身に付けることのできる場として、英語のみの環境で英会話を体験できる場「English Café」を開催

▶ かのや子どもPR大使の台湾派遣 135万円

・市内の児童生徒（6人程度）を台湾に派遣

■ 誰でも学べる市民講座（生涯学習課・デジタル推進課） 443万円

中央公民館の一部機能がリナシティかのやへ移転することに伴い、市民ニーズの高い講座メニューの追加など、誰もが学びたい市民講座の充実を図ります。

拡 ▶ 子どもから大人までを対象とした市民講座の開催 443万円

講座内容	
新規	はじめての資産形成講座、LINE活用講座、1-11-7作成入門講座 郷土史講座、ドローン講座、英会話講座 など
継続	スマホ講座、郷土料理教室、生け花、フラダンス、パン作り講座 韓国語講座 など

基本目標 4 未来につながる住みよいまち

49億7,377万円

基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進

■ 道路整備事業（道路建設課、農地整備課） 13億614万円

都市計画道路や主要幹線道路・農道などを整備するとともに、老朽化した舗装・側溝の修繕や除草伐採等を実施し、市民の生活環境の改善を図ります。

▶ 都市計画道路の整備 7,500万円
・文化線（設計・地質調査）

▶ 主要幹線道路・農道等の整備 3億8,876万円
・2号水道線、川西22号線、笠之原新茅場線、台地南北10号線 ほか

▶ 老朽化した橋りょう・トンネル・舗装・側溝の修繕 6億8,887万円
・宝来橋、曾田坂トンネル、野里川西線、細山田中央線、川東新線 ほか

▶ 市道等沿いの除草伐採等による環境整備 1億5,351万円
・市道、農道等の除草、高木伐採、防草対策工事 ほか

■ 市営住宅改善・改修事業（建築住宅課） 7億6,671万円

入居者が安心して暮らせる市営住宅とするため、計画的に改善・改修を行い、安全で良好な居住環境の向上を図ります。

▶ 市営住宅の改善・改修 7億6,671万円

《主な改善・改修住宅》

住宅名	内容
平和市営住宅（西原）	住宅改善工事（工事：62戸、設計・工事：60戸）
寿・泉ヶ丘市営住宅外	LED改修工事

■ コミュニティ交通の見直し（地域活力推進課） 307万円

輝北地域における「くるりんバス」の運行廃止を含めたコミュニティ交通の見直しを進め、乗合ワゴンによるデマンド交通実証運行を行います。

新 ▶ 輝北地域コミュニティ交通のデマンド化 307万円

・輝北町全域を運行エリアとする乗合ワゴン(自家用有償旅客運送)を運行

基本施策② 安全で安心な生活の実現

■ 防災対策事業（安全安心課、建築住宅課） 4,296万円

地震が発生した際に、家屋倒壊等による被害を最小限に抑えるため、家屋耐震化の促進や市民の防災意識の向上を図ります。

新 ▶ 家屋耐震モデル地域学習会の開催 46万円

・建築士等による対象住宅の耐震強度や家具等の転倒防止指導
・モデル対象地区住民への耐震補強や耐震支援制度等の説明・学習会の実施

拡 ▶ 耐震改修の支援（支え愛ファミリー住宅改修応援事業） 4,250万円

補助内容	現行		引上げ後	
	補助率	補助上限	補助率	補助上限
耐震改修	2/5	83万8千円	2/3	200万円
簡易耐震改修	1/3	40万円		100万円

※簡易耐震改修：耐震ベッド、耐震シェルター設置工事

■ 上下水道のインフラ対策（工務課・下水道課） 9億4,011万円

地震対策の観点から、上下水道施設等の整備・更新を進めます。

拡 ▶ 上水道施設等の整備・更新 7億9,291万円

・老朽管の更新や災害時に配水機能を確保するための基幹管路対策
・法定耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等の年次的な更新等

拡 ▶ 下水道施設等の整備・更新 1億4,720万円

・陶製污水管路の修繕・耐震化や耐震性を備えた污水管渠の新設等

■ 雨水・排水対策事業（都市政策課、道路建設課、農地整備課） 5億2,033万円

浸水被害の軽減に向けた対策を検討するとともに、幹線排水路等を整備することにより、浸水・冠水箇所の改善を図ります。

▶ 笠野原台地における浸水解析モデルを用いた浸水対策の検討 334万円

・浸水想定と浸水実績の比較等を行い、国と市が連携し初期検討を実施

▶ 雨水・排水路の整備 5億1,699万円

・旭原地区（5号排水路）、川西地区、新川地区における道路冠水や宅地浸水を防止するための排水路整備



基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

■ 環境対策推進事業（生活環境課、畜産課） 6,137万円

家庭用の太陽光発電設備等への補助に加え、脱炭素に関するセミナーやワークショップを開催し、「ゼロカーボンシティかのや」の実現に向けた取組を推進します。また、畜産環境対策として、「臭い」の種類・発生源の特定に向けた調査を実施し、臭気低減に向けた取組を推進します。

拡 ▶ 脱炭素社会に向けた取組の推進 5,622万円

・高校生による「ゼロカーボンプロジェクト」の実施
・市内事業所における「ゼロカーボン経営宣言」の実施
・市民向け太陽光・蓄電池設置補助 など

拡 ▶ 畜産環境対策の強化（臭気測定・分析） 515万円

・専門家による臭気成分分析や「臭い」の原因を究明し、分析結果に基づく指導や今後の対策強化を図ります。

基本目標 5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

14億3,518万円

基本施策① 地域福祉の充実

■ 地域共生社会の実現（福祉政策課） 4億1,807万円

行政・住民・関係機関等の多様な主体が参画し、高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等を世代・属性を問わず一体的に支える「地域共生社会」づくりを目指します。

拡 ▶ 重層的支援体制整備事業 4億1,807万円

これまでの市や各支援機関の取組を活かしつつ、市民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施します。

支援区分	支援内容	事業費
属性を問わない相談支援【継続】	相談者の世代、相談内容に応じた包括的な相談受付 これまでも市・各支援機関で連携し、複合化した相談に対応しており、引き続き各機関と連携を密に取組を推進する。（地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、新こども家庭センターなど）	2億2,830万円
参加支援【新規】	引きこもりなど社会的孤立者や地域とのつながりを要する相談者に対する支援体制がないため、新たにアウトリーチ支援を通じた継続的支援や社会参加を促す事業を実施	1億6,218万円
地域づくりに向けた支援【継続】	これまでも福祉や共生・協働など、それぞれの視点で展開しており、今後もこれらの取組を充実させ、支え合いの地域づくりを推進する。 （地域福祉協議会・地域運営組織の設置、ドライブサロンの実施、子育て親子の交流拠点の充実、高齢者サロン活動等の支援など）	2,759万円

基本施策② 健康づくり・生きがいづくりの推進

■ みんなで楽しむ健康づくり（市民スポーツ課） 50万円

生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、体力の維持向上や健やかな心身を育むことができるよう、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。

新 ▶ 市民ウォーキングイベントの実証開催 50万円

・市内5地区（鹿屋東、鹿屋西、輝北、串良、吾平）でのウォーキングイベント開催



■ 生涯学習・社会教育の推進（生涯学習課） 603万円

自ら主体的に学習できるよう学習情報や学習機会の提供、学習成果活用環境づくりなどに努め、豊かな地域社会の実現を目指します。



新 ▶ おおすみ総文祭の開催 531万円

「2023かごしま総文」を契機とした大隅地域の高校生に発表の場を提供

時期	場所	内容
11月頃	リナシティ	・音楽・ダンス、書道パフォーマンスなどの発表 ・技術系・木工系の作品展示発表 ・調理場を活用した高校生シェフの料理発表 など

新 ▶ 寺子屋シンポジウムの開催 72万円

子ども学習分野の専門家による基調講演や活動事例報告の実施

基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進

■ 市民メンバーによる新たな情報発信体制の構築（政策推進課） 24万円

市民から、「かのや特派員」を募集し、まちの魅力の取材やSNS・広報誌を活用した広報を行うなど、新たな情報発信体制を構築します。

新 ▶ かのや特派員による魅力発信 24万円

募集人数	活動内容
5人程度	・SNSによる情報発信（月1・2回程度） ・広報誌への記事掲載 ・カメラや動画編集方法の講座受講

■ 地域コミュニティの充実（地域活力推進課） 30万円

地域活動の基盤である町内会の業務や活動の効率化を推進するとともに、住民のデジタル活用スキルの向上を図ります。

新 ▶ 町内会アプリの実証導入 30万円

・町内会事務の負担軽減となるアプリの実証導入



市政運営

1億4,551万円

効率的・効果的な行政サービスの提供

新 ■ 第3次鹿屋市総合計画の策定（政策推進課） 913万円

現行の第2次鹿屋市総合計画の計画期間が令和6年度末で終了することから、新たに「第3次鹿屋市総合計画」を策定し、デジタル技術等を活用した市民サービスの向上と効率的な行財政運営に努めます。

また、市民の方の市政への興味と関心をより一層深めていただくため、市内4地域で市政報告会を開催します。

- ・ 第3次総合計画の策定
- ・ 市政報告会の開催



新 ■ 提案型広聴ツールの導入（政策推進課） 5万円

デジタルのコミュニケーションツールを活用し、本市の政策（課題等）に関するテーマに対し、多様な意見を幅広く募集し、市の施策への反映を検討するなど、いつでも・どこでも・どなたでも提案できる市政運営を目指します。



新 ■ 公共施設予約システムの導入（デジタル推進課） 169万円

インターネットからいつでもどこでも公共施設の利用予約ができる施設予約システムの運用を開始し、利用者の利便性の向上を図ります。

- ・ 導入予定施設：30施設（文化施設、体育施設、生涯学習施設）
- ・ 運用開始時期：直営施設（令和6年4月～ 随時）
指定管理施設（令和6年6月～ 随時）



拡 ■ 職員の資格取得助成制度の拡充（総務課） 100万円

専門性の向上に係る自己啓発への取組に支援を行い、職員の資質の向上及び公務能率の向上とリスクリングに取り組みます。

対象資格 (拡充)	土木施工管理技士（1、2級）、電気工事施工管理技士（1、2級）、税理士、司法書士、社会保険労務士 など
対象経費 (拡充)	対象資格取得のために、専門学校等へ通学した場合の学費



新 ■ 地域おこし協力隊の活用（農政課・林務水産課・吾平総合支所産業建設課） 1,225万円

地域おこし協力隊員を新たに募集し、それぞれの地域協力活動を行いながら任期終了後の地域への定住・定着を図ります。

《令和6年度に募集する新たな地域おこし協力隊》

名称（仮）	活動目的
観光農園に新風を吹かせ隊	観光農園の活性化と農園の担い手確保
集落営農お助け隊	将来の多様な担い手や農作業受託者の確保・育成
かのやワイルドレンジャー	鳥獣被害対策の推進



■ 行政事務のデジタル化（デジタル推進課） 3,061万円

鹿屋市役所スマート化計画に基づき、ICTツールを活用した業務の効率化や快適な職場環境づくりを行い、「スマートな職場」づくりと、「スマートな職員」の育成を進めていくことで、市民にとって利便性の高い「スマートな鹿屋市役所」の実現を目指します。

新 ▶ DX推進本部 CXO補佐官の登用 500万円

- ・ 令和6年3月に策定予定の「鹿屋市DX推進計画」に位置付ける推進本部のCXO補佐官として、外部人材を登用し、本市のDX推進に関する助言・提案等により、「市民サービスの向上」と「業務の効率化」を実現し、市民にとって利便性の高い「スマートな鹿屋市役所」を目指します。

拡 ▶ ファイリングシステムの導入 2,561万円

- ・ 職場のペーパーレス化を推進するために、ファイリングシステムを段階的に導入し、快適な職場づくりを目指します。
対象：本庁舎2階、4階、5階、6階

■ 組織機構の改正等（総務課）

本市の重要施策を推進するため、令和6年4月に組織機構の改正等を行います。

▶ 産業立地推進室の設置（市長公室内）

- ・ 雇用の場の創出や市民所得の向上に向け、産業用地の確保及び企業誘致を戦略的に行うため、産業立地推進室を設置します。

▶ こども家庭センターの設置（保健福祉部内）

- ・ 妊産婦や子ども、子育て家庭に対する支援を一層充実させるため、児童福祉と母子保健の一体的な相談・支援機能を有するこども家庭センターを設置します。

▶ 重層的支援体制の推進

- ・ 高齢、障がい、子ども、生活困窮といった分野別の相談支援機関の体制では解決することが困難な複合的課題に、関係支援機関と連携し一体的に対応するため、福祉政策課内に重層的支援コーディネーターを配置します。

令和6年度における主要な取組


- 1 「人口減少対策ビジョン」の取組 
- 2 「農業・農村戦略ビジョン」の取組 
- 3 かのや子ども・子育て政策 
- 4 防災対策の充実・強化 
- 5 地域共生社会の実現に向けて 
- 6 リナシティリニューアル事業 
- 7 戦後80年に向けた仕掛けづくり 
- 8 総文祭・国体レガシー事業 

1 「人口減少対策ビジョン」の取組

※うち新規・拡充事業の合計額
40億8,658万円

131億8,185万円

本市の人口減少の現状と課題を踏まえた、4つの重点プロジェクトにおいて施策を展開し、「人口の将来目標」の実現を目指します。



重点プロジェクト1
(社会減対策)
働きたくなる・住みたくなる
プロジェクト

重点プロジェクト2
(自然減対策)
みんなで育む「かのやっ子」
プロジェクト

重点プロジェクト3
(持続可能な地域づくり)
未来につながる地域づくり
プロジェクト

重点プロジェクト4
(市民のまちへの誇りや愛着の醸成)
かのやシンビックプライド
プロジェクト

【プロジェクト共通の視点】
・市民発の情報発信
・デジタル技術の活用
・応縁人口^{※1}との情報共有
・大隅地域での広域連携

令和6年度の主な取組

社会減対策	新 女性の起業支援
	新 地元就職の支援(親子仕事体験)
	新 コワーキングスペースの利活用
	拡 工業団地の整備
	拡 地域おこし協力隊制度の活用(新規就農等)
自然減対策	拡 学校給食の完全無償化
	新 妊産婦の産前・産後支援
	拡 子どものインフルエンザ予防接種助成
	拡 子ども医療費の支援拡充(市外在住の子ども)
	拡 日帰り型産後ケア支援
地域づくり	新 町内会のDX推進(町内会アプリ実証)
	拡 コミュニティ交通の見直し(輝北地域)
	拡 重層的支援体制の整備
シンビック プライド	新 かのや特派員によるまちの魅力発信
	新 総文祭・国体レガシー事業の実施
	新 芋いもカーニバルの開催
	拡 ゼロカーボンシティに向けた取組

人口の将来目標を達成するための **4** つの重点プロジェクト

2

「農業・農村戦略ビジョン」の取組

※うち新規・拡充事業の合計額
2億4,628万円

20億452万円

基本理念である持続可能な「農のまちかのや」の構築に向けて、4つの基本方針に基づき施策を展開し、農業産出額500億円(令和14年度)を目指します。

担い手の育成



- 新** 集落営農組織の拡大や組織化への支援
- 新** 兼業農家等の機械導入支援
- 新** 地域おこし協力隊(集落営農、観光農園)の活用
- 新** 農業担い手リスクリソング研修会
- 継** 新規就農者の研修支援

農村環境の保全



- 新** ジビエ加工処理施設整備への支援
- 新** 地域おこし協力隊(鳥獣捕獲)の活用
- 新** 有機JAS認証取得・更新支援
- 拡** 畜産環境対策の強化
- 継** 有機農業に取り組む団体への支援

生産基盤の強化



- 新** 高齢繁殖雌牛の更新支援
- 新** 豚熱ワクチン接種の支援
- 新** 小規模地域の区画整理
- 拡** 輪作作物の生産拡大に向けた支援
- 拡** 遊休農地の解消に向けた支援
- 継** 畜産施設整備の支援

加工・流通・販路開拓



- 新** 芋いもカーニバルの開催
- 新** 体験型農園の整備
- 継** 特産品販売への支援
- 継** 「鹿屋の食」高付加価値化プロジェクト

農業産出額 **500億円(50億円アップ)** の達成

持続可能な「農のまちかのや」の実現

3

かのや子ども・子育て政策

※主な子ども・子育て政策(本ページ掲載事業)の合計額

12億1,841万円

ライフステージにおけるこれまでの支援に加えて、新たな施策・支援を行うとともに、地域とともに子育てができる環境づくりを強化し、「子育てしやすいまち」として実感されることで、少子化対策につなげます。

結婚・新生活

妊娠・出産・乳幼児

小・中学生

高校生など

新規
初回産科受診料
助成

拡充
産後ケアの充実

※ 日帰り産後ケアを追加

拡充
育児用品購入支援

※ 支援対象を育児用品全般に拡大

拡充
学校給食費の
完全無償化

※ 令和6年4月から

高校生手当
※ 令和6年9月まで

不妊治療費
助成事業

新規
かごしま出会い
サポートセンターへの
登録支援

保育所等の給食支援
※ 令和6年4月～令和7年3月まで

ライフプランセミナー
の開催

出会いイベントの開催
(アウトドアミーティング)

わくわくキッズまつり
の開催

寺子屋の取組

条件付き奨学資金制度
※実施時期は調整中

結婚新生活応援事業

拡充
子ども医療費助成事業

※市外に子を持つ親への支援追加

4

防災対策の充実・強化

※主な防災対策(本ページ掲載事業)の合計額
10億 333万円

大規模地震等災害に備えるため、本市の防災対策の充実・強化を図ります。

防災意識の向上

防災対策の充実・強化

■防災意識の向上・啓発

- ・ 防災講演会の開催
- ・ 各種イベントでの周知啓発
- ・ 広報かのや(特集)



■家屋耐震モデル地域対策

新 家屋耐震モデル地域学習会の開催



■耐震改修支援の充実

- 拡** 耐震改修の補助率・補助上限引上げ
- 拡** 耐震診断要件の緩和
- 新** 市職員による簡易耐震診断メニュー



■避難対策の充実

- 拡** 災害備蓄品の充足を前倒し
- 拡** 避難行動要支援者の個別避難計画の作成支援



■上下水道インフラ対策

- 拡** 基幹管路の耐震化



5

地域共生社会の実現に向けて

《重層的支援体制整備事業》

※当該事業の事業費
4億1,807万円

これまでの市や各支援機関の取組を活かしつつ、市民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「1.属性を問わない相談支援」、「2.参加支援」、「3.地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する事業です。

これまでは
リスク毎に対応・支援

子ども・障がい者・高齢者
など対象者の属性や要介
護・虐待・生活困窮といっ
たリスク毎への対応

社会のあり方の変化
・ ライフスタイルの変化
・ 様々な支援ニーズ

重層的な支援が求められる背景

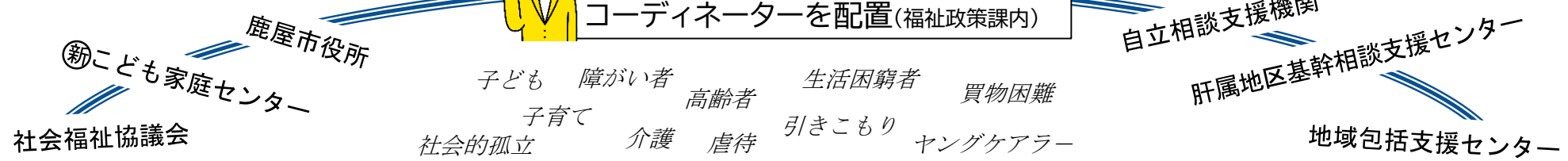
- ・ 引きこもりなど社会的孤立をはじめ、生きる上での困難・生きづらさなど、既存の制度の対象となり難いケースがある。
- ・ 8050問題や介護と育児のダブルケアなど個人や世帯が複数の課題を抱えている。

重層的支援の3つの柱

各機関が横連携で包括的に進める支援



各支援機関の連携を図る
コーディネーターを配置(福祉政策課内)



1 属性を問わない
相談支援

- ・ これまでも市・各支援機関で連携し、複合化した相談に対応している。今後も、引き続き、連携を密に取組を推進する。
- 【地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、**新**子ども家庭センター等】

2 参加支援 **新**

- ・ 引きこもりなど社会的孤立者や地域とのつながりを要する相談者に対する支援体制がないため、新たに、アウトリーチ支援を通じた継続的支援や社会参加を促す事業を実施する。

3 地域づくりに向けた支援

- ・ これまでも福祉や共生・協働などそれぞれの視点で展開しており、今後もこれらの取組を充実させ、支え合いの地域づくりを推進する。
- 【地域福祉協議会・地域運営組織の設置、ドライブサロン、子育て親子の交流の場の充実や高齢者サロン等】

※ これまで分野毎に交付されていた補助金は、社会福祉法に基づく「重層的支援体制整備事業交付金」として1本化され、一般会計に交付されます。

6

リナシティ・リニューアル事業

※本ページ掲載事業の合計額

2,750万円

コワーキングスペースを核に、異業種交流や様々なイベント・セミナーを開催し、多くの市民や企業の皆様が集える新たな交流拠点づくりをすすめます。

令和6年度の主な取組

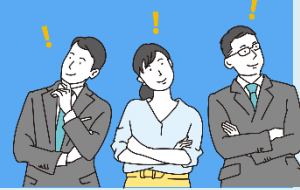
あつまる

- 事業者向けセミナーの開催
- 新たな市民向けイベント開催
(おおすみ総文祭、親子仕事体験、芋いもカーニバル等)
- 市民講座メニューの拡充 など



つながる

- コミュニケーションディレクターによる交流促進
- ビジネスマッチング
- 異業種交流
地元企業×都市圏企業 など



はじまる

- 女性起業家の発掘・伴走支援
- オンラインコミュニティ(都市圏企業×地元企業)を通じた企業連携プロジェクト



あつまる

つながる

はじまる

多様な人が集まる人と人をつなぐ場所



7

戦後80年に向けた仕掛けづくり

※本ページ掲載事業の合計額

1,166万円

令和7年度に戦後80年を迎えるに当たり、創作演劇をはじめ体験談映像等の制作や平和ガイドの研修の充実を図り、戦後80年事業に向けた仕掛けづくりを行います。

これまでの主な取組

●戦跡保存・調査

- 戦後70・75年記念パネル展(H27・R2)
- 平和学習ガイドの認定(H27・H30・R3)・活用
- 市内戦跡の市文化財指定(H27)
2箇所:川東掩体壕・地下壕第一電信室
- 米国国立公文書館の資料収集

●ソフト事業

- 平和の花束の実施
- 特別攻撃隊戦没者追悼式の開催
- 空がつなぐ・まちひとづくり推進協議会への参画及び連携事業
- 空つな連携市町と共同のマンガ制作
- 戦争遺跡VR映像の制作(3箇所)

令和6年度の主な取組

●戦争や市民生活に関する資料を保存する取組

- 新** 「戦争体験を語る」映像の制作
- 新** 3次元処理による戦跡等の保存
戦没者慰霊塔整備
戦争体験談集の制作



●戦争の記憶を次世代に語り継ぐ取組

- 新** 創作演劇の制作
- 新** 子どもガイドの育成
- 新** 雑誌「九州王国」へ特集記事掲載
平和の花束の開催
戦跡ガイドの養成(研修の強化)



●戦争遺跡を活用した取組

教育旅行の推進

8

総文祭・国体レガシー事業

※本ページ掲載事業の合計額

1,597万円

令和5年に開催された「かごしま国体・かごしま大会」や「2023かごしま総文」を契機に大会の感動や経験を繋ぐレガシー事業として新たな取組を行います。



感動・経験を繋ぐ
(レガシー)

“スポーツのまちかのや”の推進

国体開催競技など

バレーボール競技

V1リーグチームと鹿屋体育大学とのエキシビジョンマッチ等実施

ローイング競技

“オール九州かのやレガッタ(仮称)”の開催

自転車競技

Jプロツアーの継続開催

その他競技 冠大会の開催

スポーツのまちかのや

いきいきと暮らすまち

おすすめ総文祭の開催

大隅地域の文化活動に取り組む高校生による音楽・ダンス、書道パフォーマンス等

【参考資料】

1 令和6年度一般会計歳入歳出予算対前年度比較表

(1) 歳入

(単位：千円)

款	令和6年度 当初予算 (a)	令和5年度 当初予算 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %	
1 市税	11,198,100	11,500,090	▲ 301,990	▲ 2.6	
2 地方譲与税	560,252	526,749	33,503	6.4	
3 利子割交付金	2,600	3,000	▲ 400	▲ 13.3	
4 配当割交付金	19,000	23,000	▲ 4,000	▲ 17.4	
5 株式等譲渡所得割交付金	35,000	24,000	11,000	45.8	
6 法人事業税交付金	153,874	162,994	▲ 9,120	▲ 5.6	
7 地方消費税交付金	2,410,000	2,480,000	▲ 70,000	▲ 2.8	
8 ゴルフ場利用税交付金	9,000	9,000	0	0.0	
9 環境性能割交付金	34,000	24,000	10,000	41.7	
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	520,000	500,000	20,000	4.0	
11 地方特例交付金	427,000	95,000	332,000	349.5	
12 地方交付税	13,700,000	13,300,000	400,000	3.0	
13 交通安全対策特別交付金	14,460	14,460	0	0.0	
14 分担金及び負担金	180,510	179,495	1,015	0.6	
15 使用料及び手数料	702,546	729,170	▲ 26,624	▲ 3.7	
16 国庫支出金	10,688,164	9,771,570	916,594	9.4	
17 県支出金	6,039,886	5,746,209	293,677	5.1	
18 財産収入	96,879	85,900	10,979	12.8	
19 寄附金	3,000,002	3,000,002	0	0.0	
20 繰入金	5,957,642	5,354,973	602,669	11.3	
21 繰越金	600,000	600,000	0	0.0	
22 諸収入	398,585	283,588	114,997	40.6	
23 市債	4,292,500	3,606,800	685,700	19.0	
歳入合計	61,040,000	58,020,000	3,020,000	5.2	
内訳	自主財源	22,134,264	21,733,218	401,046	1.8
	依存財源	38,905,736	36,286,782	2,618,954	7.2

(2) 歳出

(単位：千円)

款	令和6年度 当初予算 (a)	令和5年度 当初予算 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1 議会費	284,553	284,846	▲ 293	▲ 0.1
2 総務費	6,575,056	6,057,354	517,702	8.5
3 民生費	24,901,890	23,301,173	1,600,717	6.9
4 衛生費	2,953,320	2,991,014	▲ 37,694	▲ 1.3
5 労働費	68,284	74,381	▲ 6,097	▲ 8.2
6 農林水産業費	2,970,361	2,747,545	222,816	8.1
7 商工費	846,653	1,118,243	▲ 271,590	▲ 24.3
8 土木費	3,907,565	3,787,310	120,255	3.2
9 消防費	1,437,468	1,501,663	▲ 64,195	▲ 4.3
10 教育費	7,707,484	6,893,772	813,712	11.8
11 災害復旧費	563,397	228,222	335,175	146.9
12 公債費	4,643,962	4,843,480	▲ 199,518	▲ 4.1
13 諸支出金	4,080,007	4,090,997	▲ 10,990	▲ 0.3
14 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	61,040,000	58,020,000	3,020,000	5.2